

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
新潟県山岳協会
新潟市南区鷺ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野巨寛
TEL 0258-52-3998

2009年度親睦登山を終えて

鈴木勝利 (新潟山岳会)

平成21年10月31日から11月1日にかけて、2009年度親睦登山が行われた。

10月31日午後4時から5時30分に渡り、銀山平の伝之助小屋において、地元で活躍されて居られる「桜井昭吉氏」により、「奥只見・尾瀬の山々」の講話があった。講話の一つに、奥只見周辺においての、知られざる自然の楽しみ方の紹介があった。ここでは「桜井昭吉氏」が実際に迎った幾つかのコースについて、スライドを交えながら具体的に紹介された。好期は雪の締まった春の残雪期で、徒歩や、スキーを使い自由に動きながら、周田の雄大な景観を楽しむというものだった。聴いているうちに色々想像してしまい、春の訪れが待ち遠しくなる。

また、私にとっては大変興味深い話があった。それは、「深田久弥氏」が過去この地を訪れ、越後駒ヶ岳を百名山の一に加えていきたいきまつについて話だった。「深田久弥氏」が、地元の案内人と共に魚沼三山を登ったのち、名山



スライドをつかって講演の桜井講師

の選定にあたって次のように述べたそうです。「八海山は、信仰の山として、三山の中で一番知名度が高い」、「中ノ岳は、三山の中で一番標高が高い」、「駒ヶ岳は、三山の中で一番姿が美しい」と、それぞれに評価した。その中から一番姿が美しい駒ヶ岳を、名山の一座に選んだという事である。最近、百名山や二百名山などの著書が多く発刊されているが、名山選びの基準はどこに位置づけているのかな？という点に興味を持っていた。特に「深田久弥氏」は、全国の膨大な山々の中からど

ういう基準で百座を選んだのだろうか？と前から考えていた。私が、私の基準で山を眺めて、「深田久弥氏は、隣のこの山を、なぜ名山に選ばなかったのだろうか？」と思った山が幾つかある。こんな感想を持った人も居るのではないだろうか。今回この講話を聴いて、深田久弥氏という人となり、ほんの僅かではあるが、なんとなく分かったような気がして面白かった。

そのほか、中ノ岐川の遊行記録や珍しい自然現象などを、スライドを使い面白く説明して頂いた。機会があったら、一部分でも良いから歩いて見たいと思った。

「桜井昭吉氏」は、さすがに歴史の生き字引である。最後に質問のやり取りがあり、全員から盛大な拍手が送られ、講演は終わった。

午後6時から、楽しみにしていた懇親会が始まった。それぞれに持ち寄った自慢の料理を広げると、広い会場が狭く感じられた。だが、宴会は隣同士の肩が触れ合うくらいが丁度よい。遠藤俊一氏に確認したところ、参加者は総勢52名だったそうである。女性の方が多かったせいか、酒

のつまみに合う料理が次々と回ってくる。それぞれ一つづつ頂いても腹いっぱいになるほどだ。まだ来るかもな？と期待して、量を調整しながら口に運ぶ。伝之助小屋で出してくれた「けんちん汁」は、キノコがいっぱい入り絶品だった。山田智子さん持参の、「茹でて塩を振っただけ」という「ムカゴ」も美味かった、半分くらいは私が食べたかも知れない。もっというんな方と飲んで話をしたかったが、どうやら私も限界にきたらしく、周りの景色が斜めに見える始めた。片隅の台に目をやると、ご好意で頂いた「7本の一升瓶」が、すべて無くなっていたのを覚えている。その後はどうしたのか覚えが無い、気がついたら寝袋の中だった。

11月1日は本番の「平ヶ岳登山」である。

バスが午前4時半に出るといので、3時50分頃に一応目を覚ました。酒が残っていたので4時10分頃までぐずぐずしていた。思い切って寝袋を出て、昨夜用意済みのザックを車から取り、急いでバスに向う。既に大半の方が席に座り出発を待っていた、何とか間に合って良かった。結局

のつまみに合う料理が次々と回ってくる。それぞれ一つづつ頂いても腹いっぱいになるほどだ。まだ来るかもな？と期待して、量を調整しながら口に運ぶ。伝之助小屋で出してくれた「けんちん汁」は、キノコがいっぱい入り絶品だった。山田智子さん持参の、「茹でて塩を振っただけ」という「ムカゴ」も美味かった、半分くらいは私が食べたかも知れない。もっというんな方と飲んで話をしたかったが、どうやら私も限界にきたらしく、周りの景色が斜めに見える始めた。片隅の台に目をやると、ご好意で頂いた「7本の一升瓶」が、すべて無くなっていたのを覚えている。その後はどうしたのか覚えが無い、気がついたら寝袋の中だった。



山頂でくつろぐ参加者たち

5時に出発し、上下左右に揺れながら、ぼんやり頭のままで登山口に着く。さすがにベテラン揃いで、着くとすぐに身支度を整え、グループ毎に素早く出発して行く。私と妻は、途中2度ほど休憩をとりながら登り、ゆっくりと玉子石の分岐点に着いた。玉子石は何度も見ているが、一応は見ないと気が済まない性分だ。玉子石から引き返して頂上を目指したが、大半の人は既に頂上近くを登っているようだった。私は「カタツムリと遠い親戚」なので、ヨタヨタしながら平ヶ岳山頂に着く。既に、木道に座って景色を眺めている人たちが、小グループで、賑やかに昼食を楽しんでいる人たちが、先の木道終点まで



山上に点在する地塘

で往復する人たちなど、それぞれに暫しの休息を楽しんでいる。私たちは木道脇の広い板場に座り、好物の「ニンニク」と「ジャガイモ」を焼き網にのせながらの昼食だ。いい匂いがするらしく、周りの目が一齐に焼き網に集中する。一つづつおすそ分けをしようと、お返しに美味しいものをたくさん頂き、なんだか得をしたような気分だった。

下山コースは姫ノ池を迂回した。水が少なかつたせいか、記憶していた池より小さく感じられた。想像していた草黄葉は、鮮やかな秋の色彩から、落ち着いた初冬の色彩に変化していた。平ヶ岳の魅力は、何といってもこの広々とした草原と、たおやかな峰の美し

さにある。皆さんが先に出たので少し気が急いたが、池塘や姫ノ池を全景に平ヶ岳の写真撮る。玉子石の分岐点からの下りでは、のんびり、ゆっくりと

「カタツムリ歩行法」で下った。チーフリーダーの遠藤俊一氏が、常に最後尾を守備された。お陰で46名全員が、安全に、しかも楽しく親睦登山を終えることができた。

行事案内

平成22年度 冬山技術講習会の開催について

標記の件につきまして、左記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。技術の向上と事故防止のため、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。最近の遭難事例も含め緊急露営、雪洞と雪崩講習を中心に研修したいと思っております。尚、新年度指導員検定会を実施したく、希望者のいる会は1月中旬に連絡頂けたら幸いです。

防止、雪洞、雪崩対策(指導員会スタッフ)
 2月20日(土) 16:00 受付 / 16:30 開会 研修会(ファーストビバーク他) / 18:30 夕食・懇親(豚汁有り) / 21:00 就寝
 2月21日(日) 6:00 起床・朝食 / 7:30 移動 / 8:00 現地実地研修 / 9:30 登山開始 / 15:00 下山後閉会式 解散

指導員制度の改定により、一般縦走登山者の指導員も可能となりました。
 参加費 一人 10000円
 当日参加 5000円 懇親会豚汁代含む
 装備 食料(20日夕食、21日朝食、昼食、行動食等)、寝袋、冬山登山装備(山スキーまたはわかんじき)、雪崩捜索装備(雪崩ビコー

期日 平成22年2月20日(土) 21日(日)
 会場 受付・宿泊 新発田市 滝谷 農村婦人の家 組倉山 研修テーマ 緊急露営と遭難

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

ICT 石井スポーツ 新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134 代
 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

ン、プロローブ(ゾンデ棒)、スコップ)
 ★特性アルミスコップ希望者は連絡下さい、お譲りします。
 6500x2500x9000g 分解可。
 〒950-00812
 新潟市東区豊1丁目11-20 阿部信一
 ☎ 025-273-11572
 Fax 273-11588
 E-mail: abc0410@kml.biglobe.ne.jp
 新潟県山岳協会会長 遠藤家之進正和
 技術指導委員会 阿部 信一

平成21年度北信越五県連絡協議会報告書

【会場】村中屋

025153412565

〒94913102 新潟県

上越市大潟区九戸浜223

【日程】

11月14日(土) 集 合 13:00

会 議 13:30~17:00

懇親会 18:00~

11月15日(日) 朝食 7:00

解散 9:00

【会議次第】

1. 開会の辞 森理事長

2. 開催挨拶 遠藤会長

3. 参加者自己紹介

石川県 永井武司 亀田行宣

富山県 松本陸男 開澤浩義

畑中 渉 土肥浩嗣

長野県 田中幸雄 小林國弘

浮須由実

福井県 渋谷好司 北山正明

新潟県 遠藤家之進正和

片桐一夫 渡邊正之

森 庄一 諏訪恵一

4. 事務連絡 略

5. 議長挨拶 略

6. 議事

(1) 本年度北信越国体山岳競

技会の総括

石川 永井武司

5ページにわたる総括報告

新潟県 森 庄一

があった外、各県1組の写真CDが配布された。

①ブロック研修会 ②代表

者会議 ③協会役員会 ④

協会国体運営研修会 ⑤北

信越国体本大会の経過と御

礼。⑥競技会場決定の経過、

国体競技の問題点等が纏め

られている。

(2) トキめき新潟国体山岳競

技会の総括

新潟 森 庄一

・本国体開催結果について運

営面から14項目について報

告された。

トキめき新潟国体山岳競技

会の成績結果

新潟 渡邊正之

・国体成績結果を分析した報

告がされ、受付担当の感想

も配布された。

(3) 来年度北信越国体山岳競

技会について

富山 開澤浩義

・会期はH21・7・24(土)

開始式・B競技

H21・7・25(日)

L競技・表彰式

・会場は

開始式＝富山国際大学付属

高等学校

富山市願海寺水口444

B競技＝フリークライミング

ジムゲッコー

富山市野々市上

L競技＝桜が池クライミング

センター

南礪市立野原東1511

・ボルダリング会場設定の関

係でB・L会場が離れた。

・ブロック別研修会は平成22

年2月20日(土)～21日(日)

(4) 国体山岳競技全般について

施設認定料について 施設

が競技基準にあっているか

認定し認定料を日山協の取

入とする考え 実務を考え

れば不可能

・選手のプロ・アマ判定

自称プロが殆ど、本来のプ

ロは5指に足りない

・指導員とプロとの生活の糧

が重なるので、指導員のな

り手がない

・競技中解説が多すぎる。選

手は解説で状況がわかる。

・観客向け解説の工夫がいる

テレビ放映される競技では

ない。殆ど同じ位置で落ち

背中しか見えない。(スピー

ド競技なら見られるし、X

ゲームのような選手に無理

な体勢を取らせるなら見ら

れる)

・研修時間は2時間でいい。

事前に規則集を勉強させて

おけばいい

・選手登録制に問題がある。

民間コンペに資格登録はい

らない。選手の費用負担支

障となるため選手確保には

登録料岳連負担となる

・日山協の競技に関する啓蒙

不足がある

・各県岳連は国体運営負担が

大きすぎる。組織の分割・

独立化は可能か?

(5) 各協会(連盟)からの提

出議題

新潟 遠藤家之進正和

・日山協普及部から「少年少

女登山教室」実施希望が伝

えられ、明15日開催の日山

協臨時理事会で審議するこ

ととなっている。北信越ブ

ロック・地元としての意見

を纏めておきたい。

・日山協50周年事業について

は、異議はない。

・日山協普及部常任委員が主

管すること。地元岳連の全

面応援はできない。

・地元岳連はブロック国体担

当している外、平日4日間

休暇の取れる者がいない。

・地元としては名目貸しであ

れば了解できるが、全面応

援はできない。

(6) その他

7. その他

8. 閉会の辞 森理事長

文責・森 庄一



山から無事に帰るために

先人達からの提言! 《2》

積雪期の越後の山は日本海から吹きつける北西の季節風がおこす吹雪で視界もきかず、地形を熟知していても尚コースを誤る危険がある。想像以上の積雪は技術以前の強力な体力とチームワーク、忍耐力がまず要求される。雪質は湿性であるから、即ち如何に濡らさぬかの工夫が必要である。 室賀 輝男

(資料提供…杉本 敏)

越後の山に見られる 変種植物

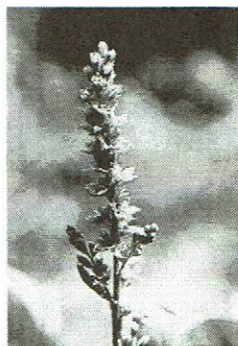
むささび会 加藤 明文

◆ シュロソウ属 Veratum

④1 ミヤマバイケイソウ



▶母種
礼文 バイケイソウ
7月2日



▶ミヤマバイケイソウ
金山 7月26日

本州中部以北～北海道に産し、本県の高山帯にも見られる、F, alpestre (高山の) で母種は山地帯に産するバイケイソウ ssp, oxysealum (鋭形のガク片を持つ) で学名どおり本種のガク片は尖らないし全体に細々としてスマートな姿である。また母種も亜種でその母はヨーロッパアルプスに産する (独) weisser germer (ヴァイス・ゲルマー) ～白っぽい、属名ベラトリウムはベラトリンの意。

編集こうき

▲自然保護委員会が主催する研修会でも必ずといっていいほど講師の方が提議されるのが「生物多様性」の重要さだ。「生物多様性」は地球環境問題の絶対的なキーワードといってもさしつかえないだろう。長い地球の歴史の中で進化を遂げた様々な生き物と、それらがつながりあつてできた生態系の豊かさを指す言葉だが、現在まで種の絶滅など「生物多様性」が急速に失われているという。国連が今年を「国際生物多様年」として多様性保全の取り組み強化を呼びかけ、10月名古屋での「生物多様性条約の第10回締約国会議 (COP10)」開催をめぐしていると聞く。地球にすむ生物の種類は名前がついているものだけで約200万種。実際には1億種にも上るともいわれている。ほころびの目立つ地球の命のつながりと、絶滅への流れをなんとかして押しとどめたいものだ。

▲遊びに来た孫たちが帰ると普段あまり使わない食材が残る。ピザつくりに興じたあとのピッツァアーチーズやスライスしたとろけるチーズの類だ。久し振りにドリアをつくつてみよう。ホワイトソースもつくるのが面倒だから、残り

のカレーのルーを使えば良い。少し大き目のグラタン皿にご飯を適量入れ、タイ菜の漬物を細かくきざんでご飯にまぶす。カレーのルーをかけて、その上にとろけるチーズをのせる。ここからが肝心で、パン粉をタッパリ全体にかけて、パセリのみじん切りで彩りをそえる。ケチャップでトッピングをしてオーブントースターでパン粉がこんがりとした色がつくまで焼けば良い。熱々のカレードリアの出来上がりだ。冷蔵庫からおもわずビールを持って来たくなる逸品だ。会報の編集がまたおくれる。 会報・編集 浅野

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第555号・IATA代理店 (22) 日本旅行業協会会員
本社: 新潟県長岡市幸町1丁目2番5号
<http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒940-0084 長岡市幸町1丁目3番5号 電話 (0258)33-7123
一級旅行業取締役主任者 森 隆樹
- 新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央3丁目2番11号 電話 (025)246-2266
一級旅行業取締役主任者 中島 豊



JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976
TEL: 025-224-2201 FAX: 025-229-5775
<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>
※“旅”の最新情報、ご覧になれます。
E-mail: h_mitani388@jtb.jp

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97 (長岡市役所裏通り)
TEL0258 (37)1200-FAX0258 (33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>